

第 5 次 飯田市立図書館サービス計画（素案）について

中央図書館

1 第 5 次計画策定の趣旨

飯田市立図書館では、「暮らしと仕事と地域に役立つ図書館」「“よむとす”を合言葉とした市民協働の読書活動推進」を運営基本方針とし、市民の皆さんの読書や研究活動を支援し、人間形成や自己確立の場であるとともに、地域を支える情報拠点となることを目指して取り組んできました。

令和 6 年度末で第 4 次計画が終了するにあたり、住民や図書館を取り巻く環境変化や課題を踏まえ、改めて飯田市立図書館のサービスの方向性を確認し、今後 4 年間の具体的な取組を定めます。

2 飯田市立図書館サービス計画の基本方針

次の三つを図書館サービスの基本方針として取り組んでいます。

- ◇一人ひとりの読書と学びを支えます。
- ◇読書を通じた交流やつながりを広げます。
- ◇地域の歴史と文化の記録を蓄積し、現在から将来にわたって地域の学びに生かします。

3 飯田市立図書館サービス計画 これまでの成果

第 1 次図書館サービス計画（平成 19 年度～23 年度）の主な取組と成果
・南信州図書館ネットワークの構築による貸出利用の増加 ・ビジネス支援サービスの開始による新たな利用者の増加
第 2 次図書館サービス計画（平成 24 年度～28 年度）の主な取組と成果
・郷土新聞、雑誌等のデジタル化やデータベース化による閲覧数の増加 ・図書館分館、美術博物館、歴史研究所の蔵書をシステムへ搭載し蔵書の有効活用化 ・市民との協働によるよむとす（読書活動推進）事業参加者の増加
第 3 次図書館サービス計画（平成 29 年度～令和 2 年度）の主な取組と成果
・ホームページによる郷土情報発信、貴重資料検索等学びのための利便性向上 ・発達段階に応じたこどもの読書活動推進に向けて学校図書館との連携強化 ・多様な主体と連携した新たな内容の講座、展示により参加者が拡大 ・インターネット予約を活用した貸出の増加
第 4 次図書館サービス計画（令和 3 年度～令和 6 年度）の主な取組と成果
・コロナ禍においても中央・鼎・上郷の貸出継続や、分館等での継続的な来館に向けた取組により、市民の読書環境を保障 ・「おともだち絵本」プレゼントなどによる幼児期の家庭での読書体験の充実、小中学校図書館との連携強化、飯田駅前図書館設置と高校生の本や図書館への興味関心を広げる取組 ・読書を通して語り合い交流する機会や、郷土資料を活用した学びの体験・情報発信の機会を提供し、世代間での交流や本や図書館への興味・関心が広がることにつながった。 ・施設、設備の安全性、快適性の向上

4 取り巻く状況

- ・多様な価値観・ライフスタイル、多様な働き方、多様な家庭環境等による地域や暮らしの変化。
- ・SNS が急速に普及する中で利用時間の増加など市民生活の変化もあり、全国的にも、1カ月に1冊も本を読まない人が62%以上（文化庁：2023年度「国語に関する世論調査」）。
- ・デジタル環境の変化は、親子のふれあいの時間や家庭での読書時間にも影響を与えていることが考えられる。
- ・伊那谷の自然と文化に親しみ地域資源を活用して学習・研究し、魅力を発信する人の減少。
- ・地域の情勢や暮らしの変化、社会経済・世界情勢・地球環境の急激な変化。

5 第4次計画期間を振り返っての主な課題

- ・コロナ禍の影響により低下していた利用が徐々に回復しつつあるものの、図書館利用者は固定化の傾向にある。図書館アンケートの結果では、図書館を利用しない方の「利用しない理由」がほとんどの年代で「行く目的がない」が上位であった。
- ・調べものにインターネットを使用する方が増える一方、図書館への資料や情報への要求は多様化・専門化している。多様化・専門化する調査等への司書のさらなる支援が必要である。図書館アンケートでは、調べもの支援（レファレンス）などについては使用している多くの方が満足している一方、使い方がわからない方、サービス自体を知らない方も少なくない。
- ・児童生徒の自発的な読書に向けて学校図書館と連携して取組を実施しているが、日常的に読書を行っている児童生徒の割合は減少している。
- ・郷土資料の利用の減少や高齢化による読書会の減少など、大切にしてきた地域の学びや、市民運営による読書交流活動が減少傾向にある。

※「令和5年度飯田市立図書館アンケート結果」「令和4～6年度 図書館概要」（図書館ウェブサイト掲載）参照

6 第5次計画の取組

図書館の基本的な業務を大切にしながら、現在の課題に沿った取組を重点とする。

- 読みたい本を得られる場所であるとともに、生活や仕事、地域の課題解決に役立つ情報を得るための蔵書の充実やサービスの向上を目指す。調べもの支援（レファレンス）の機能強化と、周知や使っていただくための取組を実施する。
 - サービスの充実という視点のみでなく、誰でも気軽に立ち寄れる居場所となることを目指す。
 - 市民の皆さんと一緒に「行きたくなる図書館」「読みたくなる」「やってみたくなる」を目指し、読書を通じた交流の機会づくりや、地域の魅力を体験したり発信したりする機会づくりを行う。市民の皆さんの交流の場や活動の場となることを目指す。
 - こどもが自発的に読書を行えるようにするために、発達に沿って、読書が楽しいと感ずることができ体験の充実を図る。乳幼児、高校生の読書活動の推進については現在の取組を継続し、小中学生の自発的な読書に向けての取組を重点とし、学校図書館と連携して取り組む。
- 関係部署と連携して継続して取り組むための「飯田市こども読書活動推進計画」を策定する。

7 今後のスケジュール

12/16 社会文教委員会協議会

1/1～1/30 パブリックコメント

2/18 教育委員会定例会

3月上旬 社会教育委員会議

3/13 教育委員会定例会（議案付議・決定）

2月中旬 図書館協議会

3/3 部長会議

3/12 社会文教委員会協議会（報告）

3/21 全員協議会（報告）